廃棄物の海洋投入処分をすることが海洋環境に及ぼす影響についての調査結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書類

目　　次

1.　海洋投入処分をしようとする一般水底土砂の特性 1

1-1 一般水底土砂の物理的特性 1
1-2 一般水底土砂の化学的特性 7
1-3 一般水底土砂の生化学的及び生物学的特性 25
1-4 一般水底土砂の特性の総括 32

2.　事前評価項目 34

3.　影響想定海域の設定 35

3-1 堆積の簡易予測結果に基づく範囲 35
3-2 濁りの拡散の簡易予測結果に基づく範囲 36
3-3 影響想定海域の設定 36

4.　環境調査項目 39

5.　海洋環境に及ぼす影響の程度を予測するために把握した海象、気象その他の自然的条件の現況及びその把握方法 40

5-1 風向及び風速、暴風雨の発生状況その他の気象に関する事項 40
5-2 水深 42
5-3 水温、塩分、温度躍層及び密度躍層 43
5-4 流況 48
5-5 波浪、波の特性その他の海象に関する事項 55

6.　環境調査項目の現況及びその把握の方法 57

6-1 水環境 57
6-2 海底環境 66
6-3 海洋生物 81
6-4 生態系 101
6-5 人と海洋との関わり 104

7.　環境調査項目に係る変化の程度及び変化の及ぶ範囲並びに予測の方法 112

7-1 水環境 112
7-2 海底環境 151
7-3 海洋生物 166
7-4 生態系 167
7-5 人と海洋との関わり 167

8.　海洋環境に及ぼす影響の程度の分析及びこれに基づく事前評価の結果 168

※新潟県と国土交通省が実施する浚渫区域は、同じ信濃川河口域の西港区であり、国土交通省で行った調査結果を使用しています。

※※当書類中のデータについて、前許可期間における監視結果を使用しています。

1. 海洋投入処分をしようとする一般水底土砂の特性

土砂の採取方法は、船上からグラブ採泥器により、水底面の表層部の底質試料を採取した。

浚渫区域の浚渫土砂は、信濃川上流からの供給により常時新たに堆積しているものであり、環境庁通達「底質調査方法」（環水管第 120 号、昭和 50 年 10 月 28 日）の採泥方法の規定により表層部から採取している。

深さ方向の調査の必要性については、表 1.1(1)～表 1.1(6)の調査結果のとおり、過去の数値の変動傾向及び河川上流部の状況から考えて、急に数値が大きくなるような発生源の存在は考えられない。

よって、大きな変動はないと考えられるが、毎年、性状分析を実施することで確認していく。

1-1 一般水底土砂の物理的特性

信濃川河口域の浚渫土砂の物理的特性について、平成 19 年度～平成 23 年度に実施した底質調査結果（粒度組成）は表 1.1（1）～表 1.1（5）に、底質調査地点及び粒度組成図は図 1.1（1）に、浚渫区域における底質調査地点の位置は図 1.1（2）に示すとおりである。なお、土砂の採取方法は、船上からグラブ採泥器により、海底面の表層部の底質試料を採取した。

浚渫区域の土砂の性状は、全ての年度においてシルト・粘土分が 90%以上と高い割合を示している。浚渫区域のシルト・粘土分が多い原因は信濃川上流からの供給によるものと考えられる。平成 23 年度は粘土分が 53.3%～70.5%と過年度に比べて高い割合を示しているが、7 月 28 日から 30 日にかけて発生した「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」による影響であると考えられる。含水比は、形態がシルト・粘土であることから 104%～190%と水分を多く含んだ状態である。

表 1.1（1）　浚渫区域の底質調査結果（粒度組成）：平成 23 年度

試験項目		単位	西港港内		
			No.3	No.5	No.7 表面
粒度組成	分類	－	細粒土	細粒土	砂まじり細粒土
	礫分（2mm～75mm）	%	0.0	0.0	0.0
	砂分（0.075～2mm）	%	0.5	0.8	5.8
	シルト分（0.005～0.075mm）	%	29.0	38.7	40.9
	粘土分（0.005mm未満）	%	70.5	60.5	53.3
	シルト・粘土分	%	99.5	99.2	94.2
含水比		%	181.2	174.4	138.4

調査実施日：平成23年9月15日

表 1.1（2）　浚渫区域の底質調査結果（粒度組成）：平成 22 年度

試験項目		単位	西港港内		
			No.3	No.5	No.7 表面
粒度組成	分類	－	粘性土	砂まじり 粘性土	粘性土
	礫分（2mm～75mm）	%	0.0	0.0	0.0
	砂分（0.075～2mm）	%	3.8	7.2	1.9
	シルト分（0.005～0.075mm）	%	63.9	62.1	65.1
	粘土分（0.005mm未満）	%	32.3	30.7	33.0
	シルト・粘土分	%	96.2	92.8	98.1
含水比		%	158	140	190

調査実施日：平成22年9月6日

1.1（3）　浚渫区域の底質調査結果（粒度組成）：平成 21 年度

試験項目		単位	西港港内		
			No.3	No.5	No.7 表面
粒度組成	分類	－	砂まじり 粘性土	粘性土	粘性土
	礫分（2mm～75mm）	%	0.0	0.0	0.0
	砂分（0.075～2mm）	%	6.9	2.4	1.3
	シルト分（0.005～0.075mm）	%	61.9	65.0	65.8
	粘土分（0.005mm未満）	%	31.2	32.6	32.9
	シルト・粘土分	%	93.1	97.6	98.7
含水比		%	109	142	181

調査実施日：平成21年9月14,15日

表 1.1（4）　浚渫区域の底質調査結果（粒度組成）：平成 20 年度

試験項目		単位	西港港内		
			No.3	No.5	No.7 表面
粒度組成	分類	－	砂まじり 粘性土	砂まじり 粘性土	粘性土
	礫分（2mm～75mm）	%	0.1	0.0	0.0
	砂分（0.075～2mm）	%	9.9	8.7	3.1
	シルト分（0.005～0.075mm）	%	45.0	70.1	66.0
	粘土分（0.005mm未満）	%	45.0	21.2	30.9
	シルト・粘土分	%	90.0	91.3	96.9
含水比		%	104	116	156

調査実施日：平成20年9月18,19日

表 1.1（5）　浚渫区域の底質調査結果（粒度組成）：平成 19 年度

試験項目		単位	西港港内
			No.5
粒度組成	分類	－	砂まじり 粘性土
	礫分（2mm～75mm）	%	0.0
	砂分（0.075～2mm）	%	7.8
	シルト分（0.005～0.075mm）	%	56.7
	粘土分（0.005mm未満）	%	35.5
	シルト・粘土分	%	92.2
含水比		%	110

調査実施日：平成19年10月5日

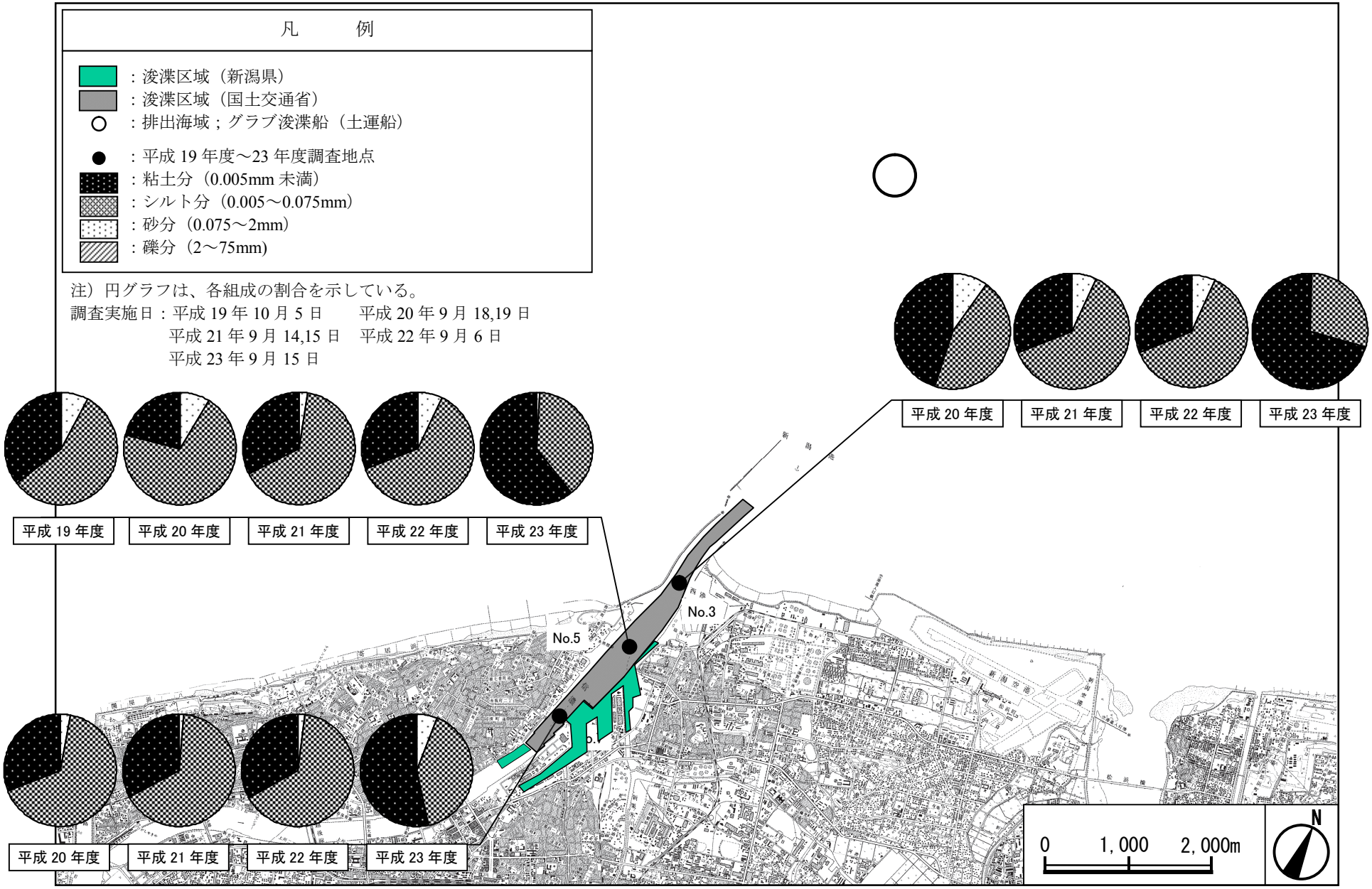


図 1.1（1）　浚渫区域の底質調査地点及び粒度組成：平成 19 年度～23 年度

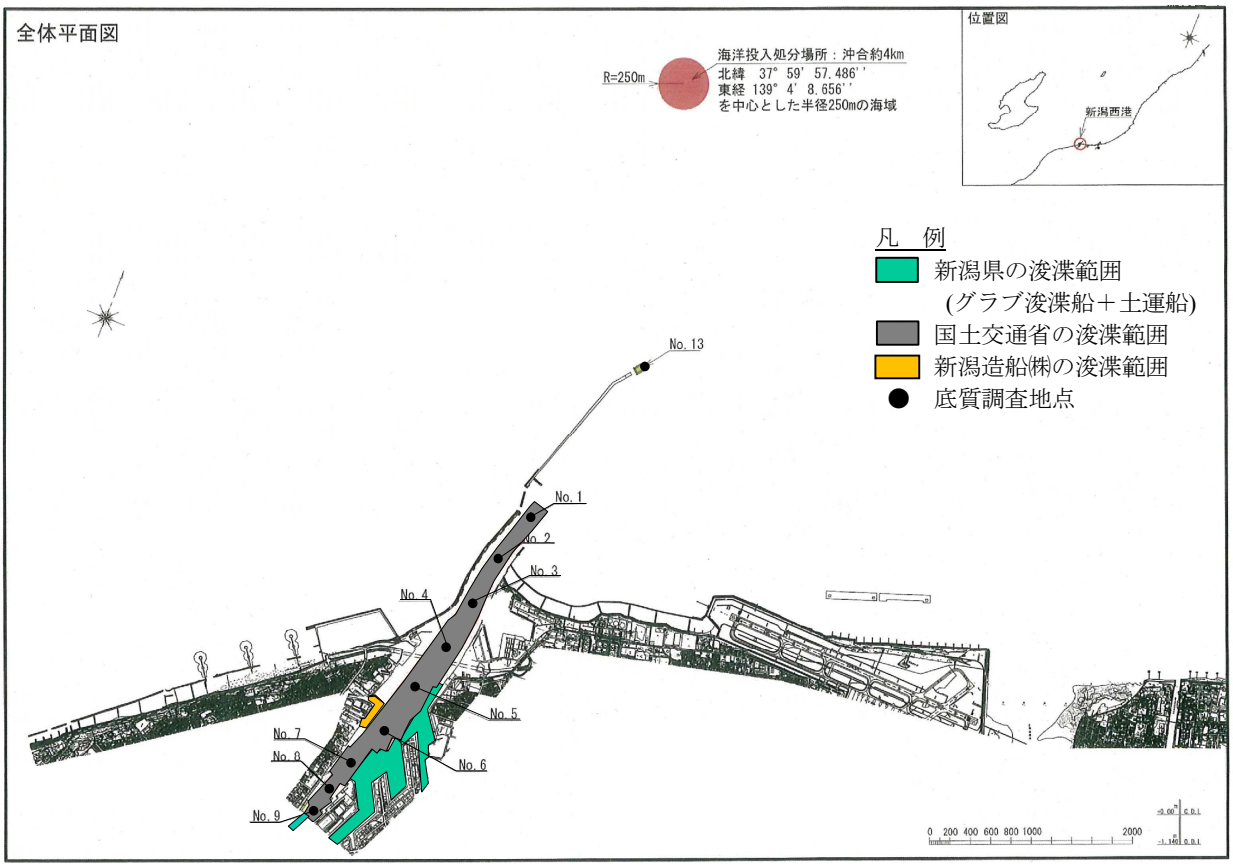


図 1.1（2）　浚渫区域の底質調査地点：平成 19 年度～23 年度

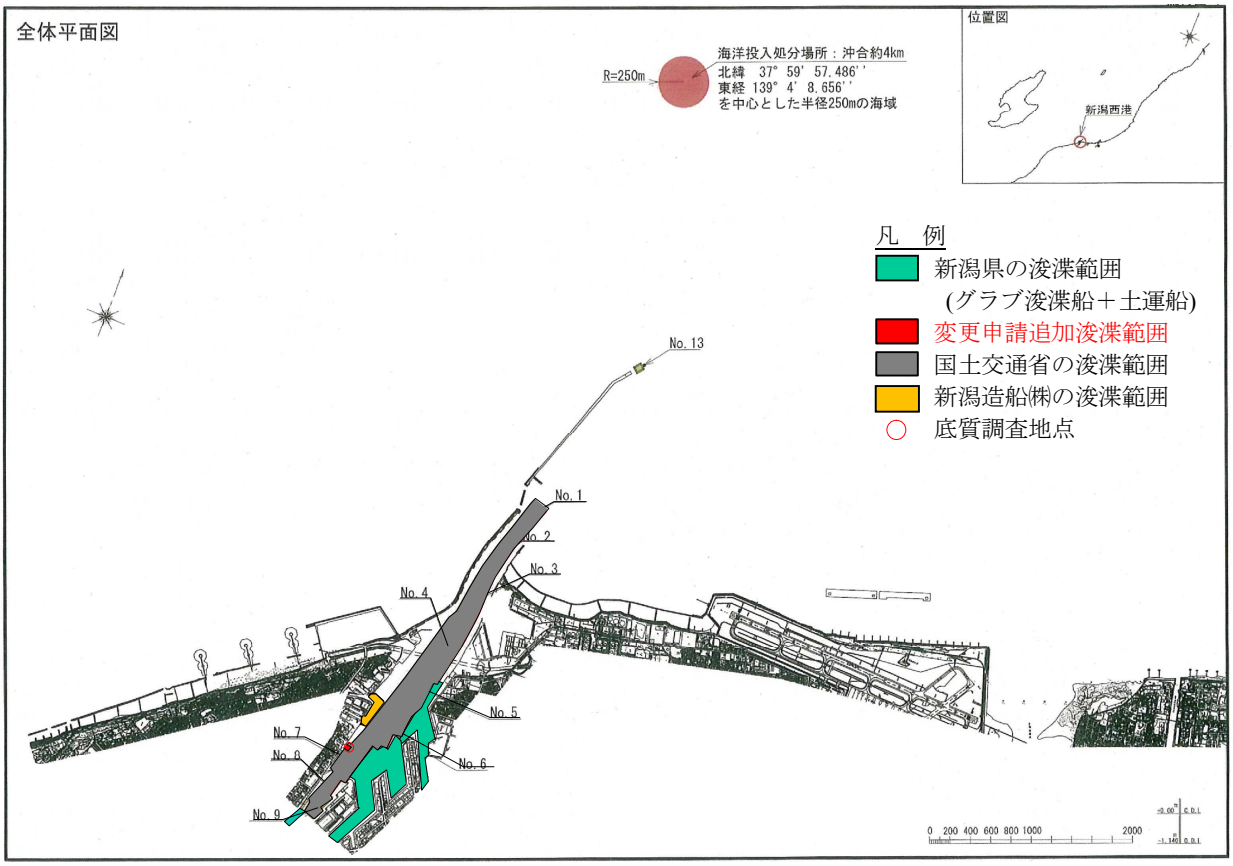


図 1.1（3）　浚渫区域の底質調査地点：変更申請追加箇所

海洋投入前の土砂（ドラグサクション船、土運船に積み込んだ浚渫土砂）の粒度組成、含水比及び比重（土粒子の密度）の分析結果は、表 1.2（1）～表 1.2（3）に示すとおりである。

分析の結果は、「表 1.1 浚渫区域の底質調査結果」と同様に、粒度組成はシルト・粘土分の占める割合が 85.4～95.1%と高く、含水比は 93.2%～154.4%と水分を多く含んだ状態であり、海洋投入前の土砂と浚渫区域の土砂は同一の性状であると判断できる。

変更申請浚渫範囲における浚渫土砂についても上記と同様の考え方に従い、当初申請範囲の浚渫土砂と同様の性状と考えられる。

表 1.2（1）　投入土砂物性調査：平成 23 年度

項　　目		単位	平成 23 年 8 月	
			土運船	土運船
			1 回目	2 回目
			AM 調査	PM 調査
土粒子の密度		g/cm3	2.61	2.62
粒度組成	礫分	%	0.0	0.0
	砂分	%	9.9	9.5
	シルト分	%	69.2	64.8
	粘土分	%	20.9	25.7
	シルト・粘土分	%	90.1	90.5
	最大粒径	mm	2	2
	地盤材料の分類名	-	砂まじり粘性土	砂まじり粘性土
含水比		%	142	115
単位体積重量		g/cm3	0.60	0.77

調査実施日：平成 23 年 8 月 29 日

表 1.2（2）　投入土砂物性調査：平成 21 年度

項　　目		単位	平成 21 年 10 月	
			土運船	土運船
			1 回目	2 回目
			AM 調査	PM 調査
土粒子の密度		g/cm3	2.628	2.623
粒度組成	礫分	%	0.1	0.4
	砂分	%	14.2	14.2
	シルト分	%	57.2	57.1
	粘土分	%	28.5	28.3
	シルト・粘土分	%	85.7	85.4
	最大粒径	mm	4.75	4.75
	地盤材料の分類名	-	砂まじり粘性土	砂まじり粘性土
含水比		%	100.5	93.2
単位体積重量		g/cm3	1.37	1.37
強熱減量		%	9.9	9.9
ＣＯＤ		mg/g	－	－
硫化物		mg/g	－	－
ＯＲＰ		mV	12	15
ＴＯＣ		mg/g	－	－

調査実施日：平成 21 年 10 月 1 日

表 1.2（3）　投入土砂物性調査：平成 16 年度

項　　目		単位	平成 16 年 8 月		
			土運船①	土運船②	土運船③
土粒子の密度		g/cm3	2.613	2.628	2.623
粒度組成	礫分	%	0.0	0.0	0.0
	砂分	%	13.5	4.9	11.5
	シルト分	%	46.8	40.3	45.3
	粘土分	%	39.7	54.8	43.2
	シルト・粘土分	%	86.5	95.1	88.5
含水比		%	135.8	154.4	130.4
中央粒径		mm	0.0103	0.0033	0.0085

調査実施日：平成 16 年 8 月 28 日

1-2 一般水底土砂の化学的特性

1-2-1 水底土砂に係る判定基準項目

平成 19 年度～平成 23 年度に実施した浚渫区域での底質調査地点は図 1.2 に、調査結果（水底土砂に係る判定基準項目*1）は表 1.3（1）～表 1.3（5）に示すとおりである。なお、ダイオキシン類の調査は、底質調査地点のうち 3 地点で実施している。調査地点は、「港湾における底質ダイオキシン類対策技術指針（改訂版）」（国土交通省港湾局、平成 15 年 12 月）を参考として設定した。同指針によると、「概況調査の場合、1k ㎡ごとに採泥地点を設けるのが望ましい。」とされている。本事業における浚渫区域の面積は約 1.3k ㎡であり、同指針に準ずると採泥地点は 1～2 地点となる。しかし、信濃川河口の浚渫区域の形状が細長いこと、中央部付近に右支川（通船川）が合流することなどから、下流部（No.2）、中央部（No.5）、上流部（No.8）の 3 地点を調査地点として設定した。

ダイオキシン類については、平成 12 年 1 月にダイオキシン類対策特別措置法が施行されたことをうけ、水底の底質の汚染に係る環境基準が新たに平成 14 年 9 月 1 日から施行された。これに伴い港湾整備あるいは維持のための浚渫の実施にあたって環境基準値を超える底質のダイオキシン類汚染が確認された場合、その対策を講ずることが必要となった。その後、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令が平成 15 年 10 月に施行され、ダイオキシン類を含む水底土砂の排出方法に関する規定が追加されたことを受けて、調査を実施している。

浚渫区域に位置する土砂の性状は、全ての年度において水底土砂に係る判定基準を下回っている。平成 23 年度に有機塩素化合物の含有量が、平成 20 年度にダイオキシン類の溶出量の値が過去 5 年間の調査において、それぞれ一度だけ高い数値が検出されているが、上流から移動してくる土砂のため予測は難しい。過去の調査結果及び浚渫区域上流部の河川の周辺状況を考慮すると、急に数値が高くなるような発生源の存在は考えられず、数値の大きな変動はないものと考えられるが、毎年性状分析を実施することで有機塩素化合物の含有量及びダイオキシン類の溶出量の変化を確認していく。

変更申請浚渫範囲における浚渫土砂について、今回、底質調査（平成 29 年２月１日試料採取）を実施し、水底土砂に係る判定基準を下回っていることを確認できた。

*1：「海洋汚染および海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和 48 年 2 月 17 日、総理府令第 6 号）で掲げられている水底土砂に係る判定基準項目

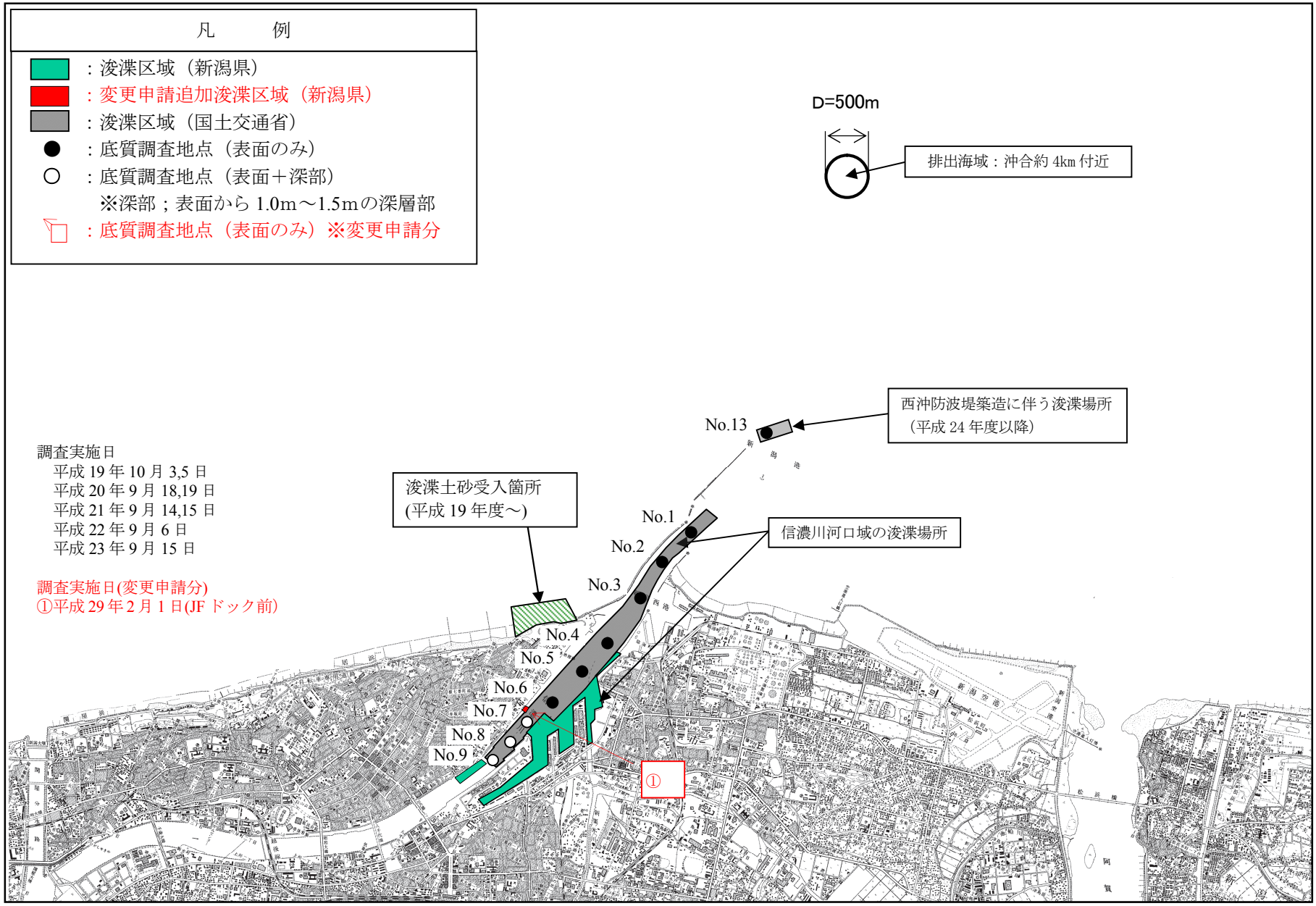


図 1.2　浚渫区域の底質調査地点（水底土砂に係る判定基準項目）
※新潟県の該当する調査地点は No.4,No.5,No.6,No.7,No.8,No.9
※変更申請に該当する地点は①

表 1.3（1）　浚渫区域の底質調査結果（水底土砂に係る判定基準項目）：平成 23 年度

試験項目	単位	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7		No.8		No.9		基準値
									表面	深部	表面	深部	表面	深部	
溶出量試験															
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1
有機りん化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.5
ひ素又はその化合物	mg/L	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
ＰＣＢ	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	2
ふっ化物	mg/L	0.1	0.5	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	0.2	0.4	0.4	15
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	1.5
ジクロロメタン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2
四塩化炭素	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02
チウラム	mg/L	0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06
シマジン	mg/L	0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2
ベンゼン	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	-	-	0.53	-	-	1.3	-	-	-	0.076	2.4	-	-	10
含有量試験															
有機塩素化合物	mg/kg	2	4	20	<2	<2	18	3	10	14	3	23	3	<2	40

調査実施日：平成23年9月15日

注）1.「<」付きの数値は、定量下限値未満であることを示す。

2.No.7～No.9では柱状採泥を実施した。採泥深度は採泥深度は水底表面から約1.0～1.5ｍの深層とした。

【基準値】

1.溶出試験及び含有量試験（有機塩素化合物）　：昭和48年総理府令第6号　海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令

2.ダイオキシン類の定量下限値は毒性等量(TEQ)ではなく、個別異性体濃度について算出する。

※新潟県の該当する調査地点は No.4,No.5,No.6,No.7,No.8,No.9

表 1.3（2）　浚渫区域の底質調査結果（水底土砂に係る判定基準項目）：平成 22 年度

試験項目	単位	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7		No.8		No.9		基準値
									表面	深部	表面	深部	表面	深部	
溶出量試験															
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ひ素又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
ＰＣＢ	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	15
トリクロロエチレン	mg/L	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.5
ジクロロメタン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	-	-	0.15	-	-	0.13	-	-	-	1.3	-	-	-	10
含有量試験															
有機塩素化合物	mg/kg	4	<4	<4	6	4	8	4	4	<4	<4	<4	7	<4	40

調査実施日：平成22年9月6日

注）1.「<」付きの数値は、定量下限値未満であることを示す。

2.No.7～No.9では柱状採泥を実施した。採泥深度は採泥深度は水底表面から約1.0～1.5ｍの深層とした。

【基準値】

1.溶出試験及び含有量試験（有機塩素化合物）　：昭和48年総理府令第6号　海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令

2.ダイオキシン類の定量下限値は毒性等量(TEQ)ではなく、個別異性体濃度について算出する。

※新潟県の該当する調査地点は No.4,No.5,No.6,No.7,No.8,No.9

表 1.3（3）　浚渫区域の底質調査結果（水底土砂に係る判定基準項目）：平成 21 年度

試験項目	単位	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7		No.8		No.9		No.13	基準値
									表面	深部	表面	深部	表面	深部	(第2西防波堤)	
溶出量試験																
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ひ素又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
ＰＣＢ	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	15
トリクロロエチレン	mg/L	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.5
ジクロロメタン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	-	-	3.1	-	-	3.1	-	-	-	4.5	-	-	-	0.088	10
含有量試験																
有機塩素化合物	mg/kg	4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	40

調査実施日：平成21年9月14,15日

注）1.「<」付きの数値は、定量下限値未満であることを示す。

2.No.7～No.9では柱状採泥を実施した。採泥深度は採泥深度は水底表面から約1.0～1.5ｍの深層とした。

【基準値】

1.溶出試験及び含有量試験（有機塩素化合物）　：昭和48年総理府令第6号　海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令

2.ダイオキシン類の定量下限値は毒性等量(TEQ)ではなく、個別異性体濃度について算出する。

※新潟県の該当する調査地点は No.4,No.5,No.6,No.7,No.8,No.9

表 1.3（4）　浚渫区域の底質調査結果（水底土砂に係る判定基準項目）：平成 20 年度

試験項目	単位	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7		No.8		No.9		No.13	基準値
									表面	深部	表面	深部	表面	深部	(第2西防波堤)	
溶出量試験																
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ひ素又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
ＰＣＢ	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	15
トリクロロエチレン	mg/L	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.5
ジクロロメタン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	-	-	10.0	-	-	2.7	-	-	-	9.7	-	-	-	0.040	10
含有量試験																
有機塩素化合物	mg/kg	4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	40

調査実施日：平成20年9月18,19日

注）1.「<」付きの数値は、定量下限値未満であることを示す。

2.No.7～No.9では柱状採泥を実施した。採泥深度は採泥深度は水底表面から約1.0～1.5ｍの深層とした。

【基準値】

1.溶出試験及び含有量試験（有機塩素化合物）　：昭和48年総理府令第6号　海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令

2.ダイオキシン類の定量下限値は毒性等量(TEQ)ではなく、個別異性体濃度について算出する。

※新潟県の該当する調査地点は No.4,No.5,No.6,No.7,No.8,No.9

表 1.3（5）　浚渫区域の底質調査結果（水底土砂に係る判定基準項目）：平成 19 年度

試験項目	単位	定量下限値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7		No.8		No.9		No.13	基準値
									表面	深部	表面	深部	表面	深部	(第2西防波堤)	
溶出量試験																
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ひ素又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
ＰＣＢ	mg/L	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	15
トリクロロエチレン	mg/L	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.5
ジクロロメタン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	-	-	2.9	-	-	2.5	-	-	-	1.7	-	-	-	0.019	10
含有量試験																
有機塩素化合物	mg/kg	4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	<4	40

調査実施日：平成19年10月3,5日

注）1.「<」付きの数値は、定量下限値未満であることを示す。

2.No.7～No.9では柱状採泥を実施した。採泥深度は採泥深度は水底表面から約1.0～1.5ｍの深層とした。

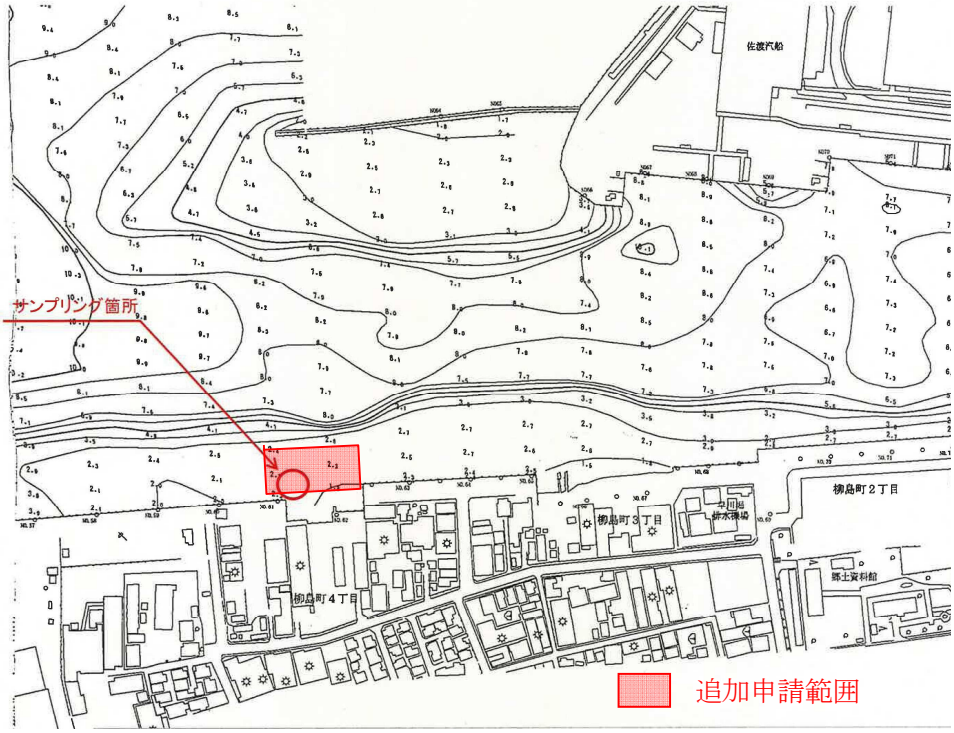
【基準値】

1.溶出試験及び含有量試験（有機塩素化合物）　：昭和48年総理府令第6号　海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令

2.ダイオキシン類の定量下限値は毒性等量(TEQ)ではなく、個別異性体濃度について算出する。

※新潟県の該当する調査地点は No.4,No.5,No.6,No.7,No.8,No.9

追加申請範囲　調査



単港整備　第1801-01-00-90号
新潟港（西港区）泊地（ＪＦドック前他）底質調査業務委託
試料採取年月日：平成29年2月1日

分析結果一覧表

検査項目	単位	分析結果		基準値[1)]
		新潟西港区 泊地(JFドック前)	新潟西港区 北ふ頭岸壁	
基本試験				
ｐＨ	-	7.5	7.7	****
強熱減量	%	17.4	14.7	****
化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	mg/g	29.7	24.8	****
含有量試験				
総水銀	mg/kg	0.11	0.18	****
ＰＣＢ	mg/kg	0.01未満	0.01未満	****
有機塩素化合物	mg/kg	4未満	4未満	40
ダイオキシン類	pg-TEQ/g	13	10	150[2)]
溶出量試験				
トリクロロエチレン	mg/l	0.01未満	0.01未満	0.3
テトラクロロエチレン	mg/l	0.01未満	0.01未満	0.1
四塩化炭素	mg/l	0.002未満	0.002未満	0.02
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.3未満	0.3未満	3
ジクロロメタン	mg/l	0.02未満	0.02未満	0.2
1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004未満	0.004未満	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.02未満	0.02未満	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04未満	0.04未満	0.4
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	0.006未満	0.006未満	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	0.002未満	0.002未満	0.02
ベンゼン	mg/l	0.01未満	0.01未満	0.1
アルキル水銀	mg/l	検出しない[3)]	検出しない[3)]	検出されないこと
総水銀	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.005
カドミウム	mg/l	0.003未満	0.003未満	0.1
鉛	mg/l	0.01	0.01未満	0.1
有機りん	mg/l	0.1未満	0.1未満	1
六価クロム	mg/l	0.05未満	0.05未満	0.5
ひ素	mg/l	0.01未満	0.01未満	0.1
全シアン	mg/l	0.1未満	0.1未満	1
ベリリウム	mg/l	0.2未満	0.2未満	2.5
クロム	mg/l	0.2未満	0.2未満	2
ニッケル	mg/l	0.1未満	0.1未満	1.2
バナジウム	mg/l	0.1未満	0.1未満	1.5
ＰＣＢ	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.003
銅	mg/l	0.3未満	0.3未満	3
亜鉛	mg/l	0.2未満	0.2未満	2
ふっ素	mg/l	0.8未満	0.8未満	15
チウラム	mg/l	0.006未満	0.006未満	0.06
シマジン	mg/l	0.003未満	0.003未満	0.03
チオベンカルブ	mg/l	0.02未満	0.02未満	0.2
セレン	mg/l	0.01未満	0.01未満	0.1
1,4-ジオキサン	mg/l	0.05未満	0.05未満	0.5
ダイオキシン類	pg-TEQ/l	8.7	3.8	10

1）ダイオキシン類（含有）を除く各基準値：海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令（昭和48年総理府令第6号）

2）ダイオキシン類（含有）基準値：ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準について（平成11年環告第68号）

3）定量下限値：0.0005mg/l